

総合教育会議

- 1 教師という仕事の魅力について
- 2 子どもを伸ばすこれからの学びについて

令和7年2月19日

- 1 教師という仕事の魅力について
- 2 子どもを伸ばすこれからの学びについて

公立小中学校における教員不足の現状



令和4年9月22日
長崎新聞

【文科省調査(2024年12月20日発表)】
○令和5年度に精神疾患で休職した教員
7119名(前年度比580名増)過去最多

全国の公立小中学校における教員不足の現状

小中学校 2割で教員欠員

2023年度に本来配置される教師が配置されなかっただことがあるか

配置されていた 年度途中から配置されなかっただ 年度初めから配置されなかっただ

小学校	39.7%	9.0123
中学校	36.8%	7.012.2

※四捨五入のため合計は100%にならない場合がある

全国の公立小中学校で2023年度、教員の欠員が発生した学校が20%前後に上つたことが22日、全国公立学校教頭会の調査で明らかになった。欠員が生じた小中学校の4・8%で、副校长や教頭が担任の代替を担っていた。同会は「現場は人員を必要としており、危機的状況が続いている」としている。

調査によると、23年度当初の教員配置で定員を満たさなかつたのは、小学校で12・3%、中学校で12・2%

公立23年度 副校長らが担任代替

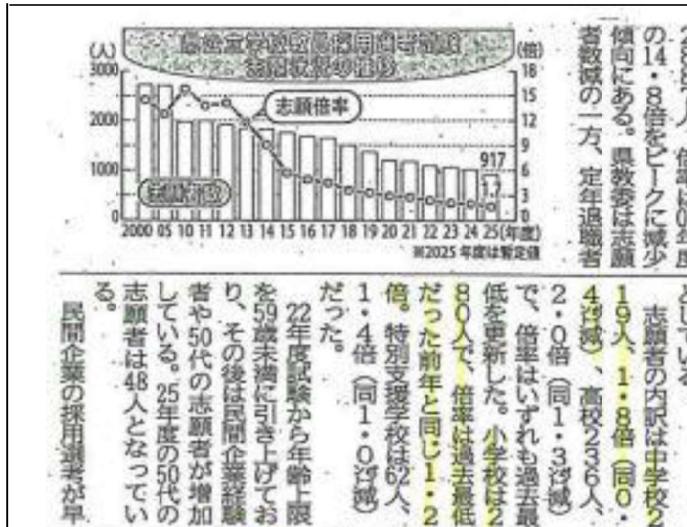
これらの中学校は副校长や教頭の関与を尋ねたところ、「担任の代替」をしたと回答したのは小学校で31・1%、中学校で7・0%。「授業の一部」を担つたのは小学校が41・9%、中学校が44・5%に上つた。「授業以外の活動」は小学校で27・0%、中学校で48・5%だった。

24年度当初も、20・9%の小中学校で教員配置に欠員があった。児童生徒に一人一台配備されているデジタル端末を巡り、端末やネットワークの修理依頼など不具合への対応を副校长や教頭が担つているとしたのは小学校で26・9%、中学校で26・3%となつた。同会は「負担の増加につながっている現状がみられる」とした。

令和6年11月25日
長崎新聞

- 年度当初に定員を満たさなかつた学校 :約12%
- 年度途中の欠員を埋められなかつた学校:約8%
- 欠員の負担の多くは教頭へ

長崎県公立学校教員採用選考試験の実施状況



黒教徒は13日、2025年開設公立学校教員採用選考試験の志願状況を発表した。全体の志願者は917人（前年同期比84人減）で、記録が残る1998年度以降、初めて千人を下回った。採用予定者502人にに対する倍率も1・7倍（同0・3倍減）で過去最低を更新。一方で新卒者の志願割合は約4割を占め、黒教徒は「教員を志す若者は減っていない」としている。

田中は、この間の出来事について、

志願者の内訳は中学校21人、高校296人、4年減、高校296人、2・0倍(同1・3年減)で、倍率はいすれも過去最低を更新した。小学校は280人で、倍率は過去最低だった前年と同じ1・22倍。特別支援学校は62人、1・4倍(同1・0年減)だった。

令和6年5月14日 長崎新聞より

25年間採用試験
倍率1.1倍 最低更新

公立教員志願初の1000人割れ

まつてしているのは合わせて、今から話題を約1ヶ月前回して実施。昨年度は教員免許証持主を経験のない教員免許証持主を対象としたセミナーを開催するなど、人材確保に力を入れているという。

13日の定例教育委員会でも報告。教育委員からばげ教員の奨学金返済支援事業の導入や退職者の活用推進などの対応を求める意見が上がった。

（元木竜樹、柴崎優衣）

- 志願者917名(前年比84名減)
 - 小学校1.2倍 中学校1.8倍(いずれも過去最低)

- | 教師という仕事の魅力について
- 2 子どもを伸ばすこれからの学びについて

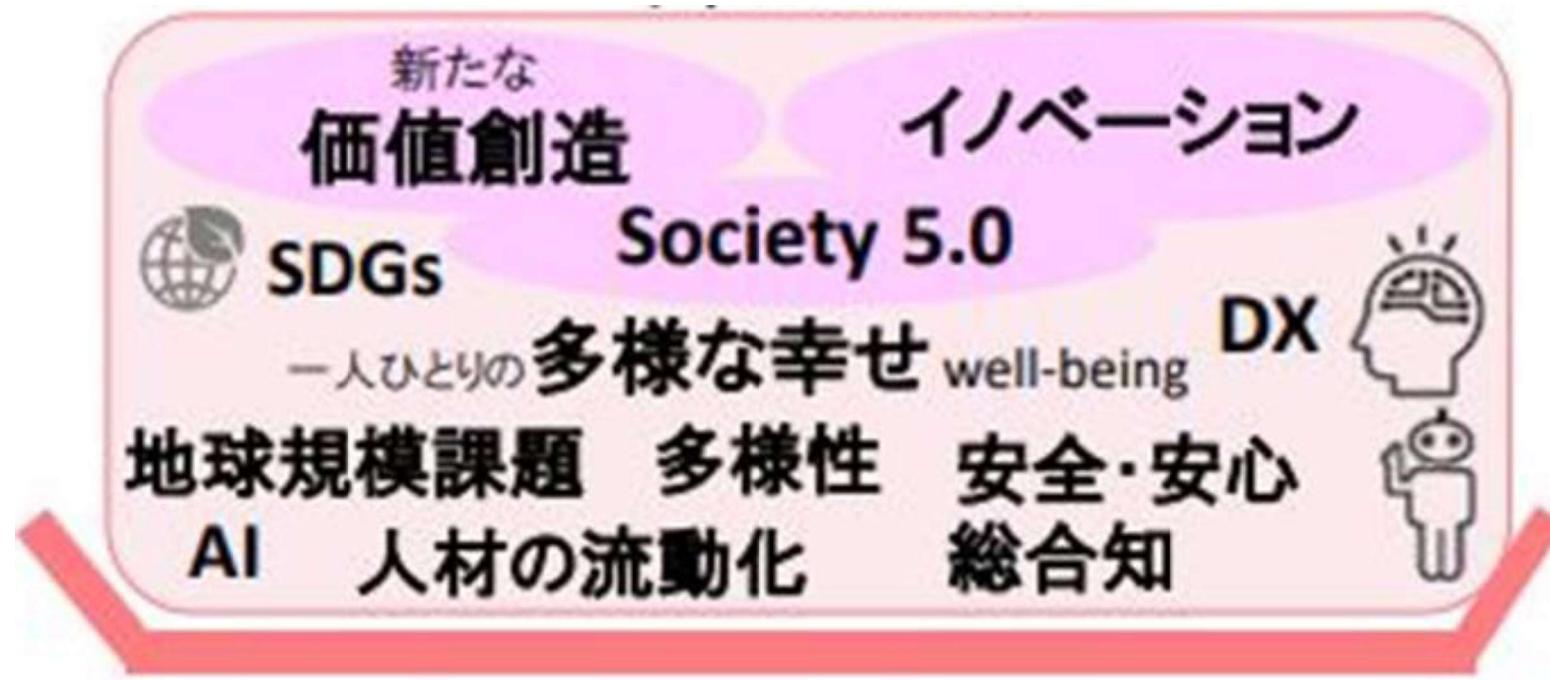
学習指導要領の変遷

改訂時期	主な改定内容 キーワード
S.33	道徳の新設
S.43	教育の現代化
S.52	ゆとり
H.元	新学力観
H.10	基礎基本と生きる力
H.20	生きる力 脱ゆとり
H.29現行	資質・能力

現行の学習指導要領

バックキャスティング

2030年の世界を見据え、今どんな教育が求められるか…



コンテンツベース から コンピテンシーベース へ
(内容重視) (資質・能力)

教室の中にある多様性

特異な才能のある子供

0.8人
(2.3%)

発達障害の可能性のある子供

2.7人
(7.7%)

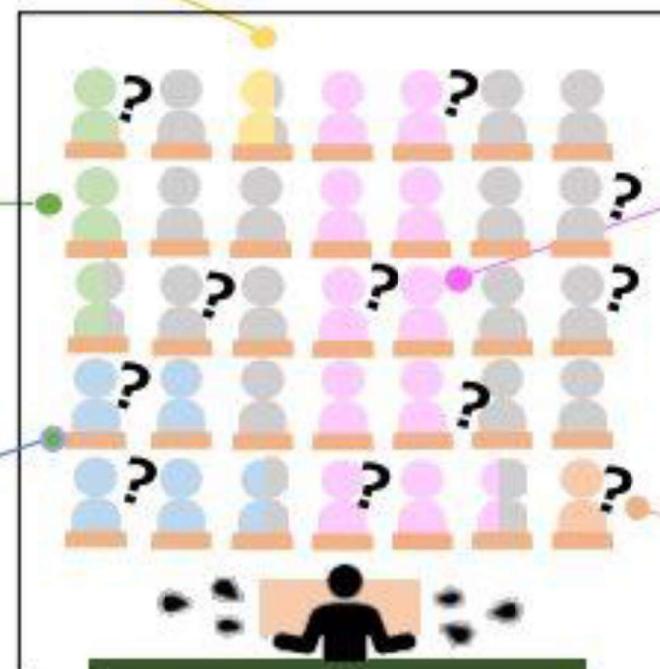
不登校

0.4人
(1.0%)

不登校傾向

4.1人
(11.8%)

小学校35人学級の場合



家にある本の冊数が少なく学力の低い傾向がある子供

10.4人
(29.8%)

日本語を家であまり話さない子供

1.0人
(2.9%)

佐世保市教育大綱

基本理念に基づく3つの目指す姿

目指す子どもの姿	目指す学校・教職員の姿	目指す家庭・地域社会の姿
子供のウェルビーイング 誰一人取り残さず、可能性を引き出す	教職員のウェルビーイング 多様性に対応できる資質向上	地域住民のウェルビーイング コミュニティスクール、地域の教育資源